

Press Release

令和7年11月27日

香川大学法学部高校生懸賞論文2025の 受賞10作品(最優秀賞1名 優秀賞3名など)が決定 最優秀賞は広島高等学校3年生

平成27年度より開始した「香川大学法学部高校生懸賞論文」は、さまざまな社会問題について、高校生の能動的な学びを支援するため実施しています。毎年テーマを設けて中・四国9県の高校生を対象に論文を募集しており、今年も応募総数85点の多くの力作が集まるなか、以下のとおり審査結果が決定いたしましたのでお知らせします。優秀な作品については以下のとおり開催する表彰式にて表彰し、HPでも公表します。

テーマ:次のテーマから一つ選択。タイトルは自由。

A 戦後80年(昭和100年)、日本国憲法について(香川県教育長より出題)

出題の意図:憲法が果たしてきたものやこと、現在の日本社会における憲法の存在感、
そこから見える未来のことを論じてほしい

B 自転車による交通違反の罰則強化について

【最優秀賞1名】

碓井 愛美(広島高等学校3年) : 「空気のような憲法」から「使いこなす憲法」へ

【優秀賞 3名】

近藤 颯紀(高松高等学校1年) : 日本の羅針盤

砂川 いち華(高松高等学校1年) : 憲法の隙間に立つ自衛隊——「平和」と「現実」の間で揺れる私たち

山西 和花(高松高等学校1年) : ニュージーランド事例から考える日本の自転車安全施策

【奨励賞 6名】

石井 匠(穴吹学園高等学校2年) : 日本の未来を拓く憲法論~緊急事態条項と地方自治を中心に~

高橋 沙里唯(大手前高松高等学校1年) : 放っておくことが平等?日本と海外の事例からみる法と現実

新田 涼乃(倉敷天城高等学校2年) : 私たちと憲法のこれまでとこれから

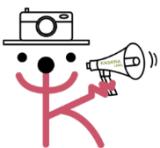
平松 莉央(坂出高等学校2年) : 自転車生活を楽しむために

三宅 萌加(観音寺第一高等学校2年) : 「戦後」という言葉を使い続けるためには

安富 弥生(坂出高等学校2年) : 身近な乗り物に潜む危険性

○詳細につきましては、法学部HP (https://www.kagawa-u.ac.jp/kagawa-u_jl/) をご覧ください。

【表彰式】 日時:令和7年12月13日(土) 13:30~
場所:香川大学幸町北キャンパス多目的ホール (高松市幸町1-1)



取材申込はこちらから↓



➤ お問い合わせ先

香川大学法学部「高校生懸賞論文2025」係

TEL: 087-832-1806 (平日9時から17時まで)

E-mail: kenshouronbun-j@kagawa-u.ac.jp